

認定NPO法人 鳴門「第九」を歌う会だより

“友よ”

リーバー フロイント

# Lieber Freund

vol.17

発行：認定NPO法人 鳴門「第九」を歌う会事務局

TEL 088-686-9999 FAX 088-686-9994

http://www.naruto-9.com/ E-mail: kanki@naruto-9.com

2017年8月20日発行



## 里帰り公演の興奮そのままに！プレ100周年の第九演奏会、盛大に

福岡・大分両県を襲った九州北部の豪雨で被害に遭われた皆様には、今もなお、避難生活を続けている方も多く一日も早い復興を祈念いたしますと共に、亡くなられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

いよいよ「第九アジア初演100周年」まで一年となりました。100周年を一年後に控えた第36回「第九交響曲演奏会」は、鳴門市の姉妹都市リューネブルク市から、100周年にもタクトを振ってくださるトーマス・ドーシュ氏をお迎えし、盛大に開催することが出来ました。県外は北海道から鹿児島まで55団体415名。徳島県各地からは188名。合計603名の第九を愛する仲間達の大合唱団が今年も迫りに満ちた見事な演奏を聴かせてくださいました。私も観客の一員として聴かせていただきましたが、最後の「ブラボー！」の声に合わせた大拍手では、皆様と一緒にいつまでもいつまでも拍手を送っていました。徳島交響楽団の一条乱れぬオーケストラの響きと、「おお友よ！…」と声を合わせる603名の声の一つになって、満席

の観客を巻き込んで、ホール全体が感動の渦となりました。

大塚国際美術館での第九は今年で7回目。システィーナ・ホールに響く大合唱が観客を魅了しました。来年は二日間公演のため、ひとまずお休みです



リューネブルク劇場音楽監督のトーマス・ドーシュさん。3月の「第九」里帰り公演の感動がよみがえりました

来年は、これまでの36回の演奏会を基盤として、100周年にふさわしい記念行事となりますように、関係者一同試行錯誤を繰り返しているところでございます。特に来年が10回目となるソリストオーディションでは、これまでに出演された36名のオーディション合格者からグランドチャンピオンの方4名を選ぶという趣向となっています。《9月7日(木)本選…公開オーディション》どうか皆様ご期待の上、100周年の各行事にご協力ご支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本会を陰から支えてくださり大成功に導いてくださったボランティア・アルバイトの皆様はじめ市職員の方々、出店で本会を盛り上げてくださった多くの関係の皆様にご心よりのお礼を申し上げ、ごあいさついたします。

(認定NPO法人 鳴門「第九」を歌う会

理事長 大塚 道子)

# プレ100周年は里帰り公演からスタート!

板東の地に第九が響いて来年で100年。日本、ドイツ、中国、アメリカから集まった合唱団による第九が、ドイツに里帰りしました。国や人種、言葉や立場を越えて、ひとつになった歓喜の歌声に、会場は感動の渦と化しました

2017年 3月11日(土) 17:00~  
 リューネブルク市 ロイファナ大学オーディマックス  
 指揮: トーマス・トーフ  
 管弦楽: リューネブルク交響楽団

第4回となる捕虜の子孫を招待しての「第九」里帰り公演が、3月11日(土)、姉妹都市ドイツ・リューネブルク市のロイファナ大学オーディマックスで開催されました。この演奏会はオーディマックスの柿(こけら)落としの演奏会となりました。

日本より150名・ドイツ90名・中国40名・アメリカ20名の300名による国際的な合唱となり、捕虜の子孫も50名の方がご参加下さいました。演奏会終了後、交流会も開催しました。

宗教や民族の対立が絶えない今日の社会に有って、100年前戦争で争った日独両国民と、戦地となった中国・青島にアメリカを加えた4カ国4市民が「第九」を通じて世界平和への願いを共有しました。

その後、ボン市にあるベートーヴェンの生家・ベートーヴェンハウスでも「第九」の演奏会を開催しました。館長から、この演奏会がベートーヴェンハウスでの「第九」初演と

ベートーヴェンハウスでの第九。指揮はジェフリー・バーンスタイン氏



ひと足早くドイツ入りした亀井副理事長は、3月7日、在ドイツ日本大使館において、「鳴門の第九と国際交流」と題して講演を行いました

の事が知らされました。

「第九」アジア初演の地鳴門が中心となった里帰り公演が、ロイファナ大学・音楽堂での「第九」初演と、ベートーヴェンハウスでの「第九」初演という思いがけない幸運を戴き、3つの「第九」が初演となった里帰り公演でした。(認定NPO法人鳴門「第九」を歌う会 副理事長 亀井俊明)



交流会にはメドケ市長も隣席。リュウ市あけての演奏会でした



俘虜の子孫の方々と。あちこちで交流の輪ができていました

## 里帰り公演に続いて鳴門第九にも参加 てしがわら 勅使河原清子 FÁBIKさん



ドイツから参加の勅使河原清子さんは、去年2月、最愛の夫 LÁSZIÓ FÁBIK (88歳)さんを病で亡くしました。「独り歩きを始めている私自身へ夢と希望を持つ心がまえの意味で、また、世界ひとりひとりへ恵み豊かな生活が与えられるようにと平和を祈りながら歌いました。今日の素晴らしい合唱に感動しています。きっと天より夫も喜んでいることでしょう」と語ってくれました。



## サントリー地域文化賞受賞！ ビッグニュースに喜びひとしお



2016年9月30日、贈呈式にて

地域文化の活性化に貢献した個人や団体を顕彰する「第38回サントリー地域文化賞」（公益財団法人サントリー文化財団主催）が認定NPO法人 鳴門「第九」を歌う会に贈られました。第一次大戦中の1918年、鳴門において第九がアジアで初演された史実を踏まえ、長年歌い継いできた点などが評価されました。都内で行われた贈呈式には亀井副理事長らが参加し、記念の盾と副賞200万円をいただきました。県内では5件目という栄えある受賞は本当に光栄なこと。100周年に向けて大きな弾みとなるビッグニュースでした。

## 友愛のコスモス咲かせ続けて四半世紀 第九の森花壇 居上和子さん

ここは鳴門市ドイツ館の南庭、「第九の森花壇」。色とりどりの可憐なドイツコスモスが秋風に揺れています。この花壇は平成5年、今のドイツ館が開館された際、当時鳴門市ボランティア支援の会の代表であった村元信江氏が鳴門市と交渉し、「この荒れ地を耕し、日独友好の花壇として市民協働で友愛の花を咲かせましょう！」と約束を交わしたことに始まります。以後、約四半世紀にわたって、後に「鳴門“第九”を歌う会」の会員となった私を中心に有志を募り、夏秋2回、ドイツコスモスを咲かせてきました。



花の種は姉妹都市であるリュネブルク市と鳴門市の親善使節団によって毎年秋に届けられています。種子の交換式は異郷の地で亡くなったドイツ兵後列左端が居上さん



## 街角で突然はじまる歓喜の歌。 話題のフラッシュモブを実施

2016年9月13日、東京・二子玉川のショッピングセンター内の一角に、楽器を手にした人々が集まってきました。そしていきなり始まる第九の演奏。演奏に合わせて阿波おどりが繰り出し、鳴門や福島からも参加した合唱隊が、平井秀明さんの指揮のもと、ひとつとなつて、観客を沸かせました。

これは「フラッシュモブ」と呼ばれるサプライズ演出。第九アジア初演100周年のPRにと、徳島新聞社や福島民報らが共同で企画しました。大きな反響を呼んだこの催し、下記の動画サイトでも見られますよ！

<https://www.youtube.com/watch?v=39-cT8BZHJU>



「ドイツさん」が暮らした板東の地に咲き誇るコスモス

士の墓前に兵士仲間がコスモスの花を捧げたことに由来しています。花壇はドイツ館を訪れる人々の目を楽ませると同時に、隔年に訪れるリュ市からの親善使節団の墓参にも供しています。

世界平和と人類愛を謳う「第九」を愛する人々にこの静かな営みをご理解いただき、共に日独友好の絆を深めていきたいと願っています。

最後に、この花壇で楽しく汗を流してきた同志の名を記載させていただきます。

（斉藤裕子、納田順子、小笹山知恵子、藤本久子、森内久利子、藤原恵子、居上和子ほか／敬称略）



## 活動の記録

第九を通じた音楽文化の普及、地域や全国の仲間との交流も私たちの大事な活動です。今年の活動の中から主なものをご紹介します。

### 県内研修

#### ❖ 平成28年度総会 & 研修会

2016. 8/21 於：鳴門市共済会館

富士都美先生を中心に集まったうたの広場「NKB」、音楽スタジオ「あじさいelegance」の皆さんが、なつかしい童謡や唱歌、第九初演の史実をテーマにした音楽劇『バンドー少年物語』ほかを演奏してくれました。身振り手振りを入れながら一生懸命歌う子ども達の姿に、観客も思わずほっこり。



ドイツ語でしっかりと第九を歌う子ども達

### 県外研修

#### ❖ 2016「かがわ第九」演奏会に参加

2016. 11/6 於：香川県高松市・レクザムホール

#### ❖ サントリー 1万人の第九に参加

2016. 12/4 於：大阪府・大阪城ホール

#### ❖ 2017ブリッジ・トゥ・ジョイコンサート(L.A)に参加

2017. 7/28 於：アメリカ ウォルト・ディズニーコンサートホール

7月25日より8月1日まで、アメリカ・ロサンゼルスウォルトディズニーコンサートホールでL.A.Daikuの皆さんが催されます「第九」コンサートに鳴門から7名、釧路から2名、桐生から11名の計20名が参加しました。東のカーネギーホールか、西のディズニーホールかといわれる立派なホールでの「第九」は感動的でした。「第九」を通じてL.A.Daikuやサンフランシスコの皆さんとの絆を一層深めて参りました。参加者一同「第九」を通じた友好の絆が拡がりを持つことに少しでもお役に立てたと喜んでおります。



### 板東俘虜収容所開所100年を祝って

第1次世界大戦のドイツ兵捕虜の収容所は、当初四国では松山、丸亀、徳島の3ヶ所に設置されていましたが、1917年4月7日、新しく板東俘虜収容所に統合されました。

今年4月7日、収容所が設置され100周年を迎えるにあたり、慰霊碑の周辺を整備した菩提樹の森で催された式典には、鳴門「第九」を歌う会より亀井副理事長他役員が参列しました。

午後、ドイツ館で板東俘虜収容所開所100周年記念コンサートが催されました。

当時のドイツ兵捕虜達が演奏した音楽を再現するため徳島エンゲル楽団の演奏に合わせて鳴門「第九」を歌う会が参加しました。



## その他行事

創作落語「鳴門第九物語」～ラーゲルに響く交響曲～によせて 桂文枝さんと第九♪

2017. 5/14 於：鳴門市文化会館



鳴門市市制施行70周年記念事業として、落語家・桂文枝さんに委嘱した創作落語が完成し、初演されました。1200人の観客を大いに笑わせた後は、平井秀明さん指揮による「第九」の演奏。100名を超える合唱団有志にご参加いただき、圧巻のフィナーレとなりました。

## コーラス9

#### ❖ 第九の里コンサート 2016. 7/31 於：鳴門市ドイツ館

「ローレライ」「ねんねこもりは」「歓喜の歌」

指揮：大井美弥子 ピアノ：向井真紀子

#### ❖ 熱演!真夏の阿波踊り 2016. 8/14 於：NHK徳島放送局

鳴門浮々連とともに、阿波おどりと歓喜の歌のコラボレーション

#### ❖ 第23回ドイチェス・フェスト in なると

2016. 10/23 於：鳴門市ドイツ館

指揮：大井美弥子 ピアノ：平賀理絵

#### ❖ 野口雨情メモリアル音楽祭 2016. 11/6 於：鳴門市文化会館

指揮：大井美弥子 ピアノ：平賀理絵

#### ❖ 第39回鳴門市芸能祭 2016. 11/13 於：鳴門市文化会館

指揮：大井美弥子 ピアノ：平賀理絵

#### ❖ コーラス9 第11回演奏会「ニューイヤー・コンサート」

2017. 1/9 於：鳴門市ドイツ館

2017年の幕開けはメサイア(抜粋)&第九! メサイア全曲演奏を目指し、これから数年かけて取り組んでいきます。

指揮：山田啓明 ソプラノ：真鍋美恵 アルト：小川明子  
テノール：頃安利秀 バリトン：刘 宇 ピアノ：平賀理絵  
合唱指導：大井美弥子 合唱：コーラス9



●「一万人の第九」2016年公式パンフレットに、鳴門のメンバーの詠んだ俳句が掲載されましたのでご紹介します。

「コスモスや第九の里に 声聴みて」(住友千鶴代)

「燃えあがる 第九の友と 冬の宵」(山本貴久枝)

●毎年思います、「今年の第九が一番よかった」と。それってすごいことです。みんなで創る鳴門の第九。さあ、100周年に向けダッシュです!(広報委員一同)